

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	設備は利用定員に応じて適切であるか	○		常時、子ども1人あたり6㎡以上（法律上は3㎡以上で可）の床面積を確保し、静養室や個室も設けています。別に調理訓練室を設け（17㎡）広々とした空間で調理実習を行っています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		保育士や児童指導員、並びに指導員を常時4人以上の加配体制で配置しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○		2階まで一人用の階段昇降機を設置しています。事業所内は玄関は段差なし。室内はトイレ入り口に2cm、作業訓練室入り口に5cmの段差があるが、車椅子利用者でもウィリーもしくは軽介助で段差昇降可能である。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		随時、または定期的なミーティングを行い、業務改善に努めています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		令和7年3月に実施しまして、結果を公表しています。ご意見を参考にして業務改善に繋がりたいと思います。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		今後定期的にホームページ上に公表していきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	今後、実施できるように努めています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		毎週、事業所内の研修会を実施しております。外部の研修会にも参加できるように努めております。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		初回面接や、契約時に丁寧に学校や家庭内での様子を伺ったり、計画作成前に希望表の記入をお願いし、作成しております。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○	今後学習しながら使用できるように努めます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		随時、または定期的なミーティングを行い、活動プログラムの計画をしています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		随時、または定期的なミーティングを行い、活動プログラムの工夫をしています。日本の四季折々の行事を取り入れたり、英会話教室とコラボして欧米の行事を取り入れたりして様々なプログラムを計画していきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		随時、または定期的なミーティングを行い、活動プログラムの工夫をしています。長期休暇では外出プログラムを多く取り入れ普段できない活動、訓練を行ないます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		随時、または定期的に担当者会議を開き、個別・集団の支援について検討しています。
	15	支援開始前には職員間で打合せを行い、支援の内容の確認や役割分担、振り返りについて確認しているか	○		支援開始前・終了後に、職員間でミーティングを行い、情報を共有しています。非常勤職員へも必ず、申し送りノートや口頭で情報を共有しています。
	16	支援終了後には、職員間で打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		支援開始前・終了後に、職員間でミーティングを行い、情報を共有しています。非常勤職員へも必ず、申し送りノートや口頭で情報を共有しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		個別や集団の記録書を用いて、支援内容や検証・改善に努めています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		必要時もしくは6か月に1度はモニタリング、担当者会議を行い、計画の見直しを行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○		個別・集団ともに、多彩なプログラムを準備し、基本活動の向上に努めています。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者や、担当の職員等、子どもの状況を把握している者を参加させています。

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		保護者、学校と連携を図り、書面又は直接電話や面談をして、情報共有や連絡調整を行っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	/	/	該当なし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		直接訪問し説明したり打ち合わせをしたりして、情報共有と相互理解に努めています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		該当なし
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		必要に応じて、担当者会議にも参加して、助言等を受けています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもとの活動する機会があるか	○		積極的に地域の子ども食堂に参加し一緒にゲームをしたり大工仕事をしたりする活動を取り入れています。今後も実施できるように努めていきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○	今後必要に応じて、積極的に参加をしていきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		連絡帳アプリやLINEを利用して家庭・事業所での様子を伝えあっています。また送迎時も時間の許す限り行っています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		保護者からの相談に応じて支援を行っていますが、今後も積極的に機会を設けたいと思います。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に行っており、保護者より質問があった場合は、丁寧な説明を心がけています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		相談があった際は、電話や面談で十分時間を取って聞き取り、必要な助言や支援を行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		今年度はパーベキュー大会や夏祭り、ハロウィン、クリスマス会に保護者を招待して、交流する機会を設けました。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情担当者・解決者を配置したり、苦情解決マニュアルを作成したりし、その都度対応を行っております。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎日連絡帳アプリを活用し、活動内容の報告や写真、お知らせの文書を発信しています。また、公式ライン等を用い、随時情報を発信しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		施錠できる書庫にて厳重に管理しています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		必要に応じて、文書やメールなどで伝達を行っています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	商店街の各店舗を訪問しハロウィンにお菓子を配っていただいたり、バレンタインにチョコレートを配ったりして交流していますが、今後はもっと交流できる行事を考えていきたいと思っています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		職員に対しては定期的に研修会を行っています。保護者向けは玄関にマニュアルを備えていますが、個別にも周知しております。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		定期的に職員の研修会や子どもたちを含めた訓練を実施しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		定期的に虐待防止に関する研修会を実施しております。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		現時点では、身体拘束が必要なケースは1件で送迎時に安全を確保するため身体を一時的に保護するとしています。今後他の児童で必要な場合は計画の変更と同意を得ていきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		各自聞き取りを行い、職員間で共有しています。現在は対象の方は1名で乳製品アレルギーです。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハット報告書を事例集として、職員がいつでも見れる状態を作っています。